

## 【平成19年度「地域密着型金融」の取組状況について】

平成20年8月  
東京シティ信用金庫

平成15年4月から平成17年3月までの「アクション・プログラム、集中改善期間」と平成17年4月から平成19年3月までの「アクション・プログラム、重点強化期間」の取組を経て当金庫は「地域密着型金融」への取組が、信用金庫として経営理念実現のための重要な行動であることを認識し、引き続き行動して参りました。

平成19年4月より20年3月までの取組状況を取り纏めましたのでご報告申し上げます。  
本年度については

- 1.当金庫が現実的に取組可能で、地域に貢献できるもの
  - 2.できるだけ数値目標を掲げ、取組中もその取組状況が確認できること
  - 3.金庫内の各部門が連絡を密にして取組の内容を周知し、金庫全体で意欲を持って取り組むこと
- に特に留意致しました。

### I. 19年度取組項目

- 1.ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- 2.事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- 3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
- 4.その他

### II. 取組項目の詳細(目標と実績)

#### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

##### (1) 創業・新事業支援

- \* 経営相談窓口の機能を強化し、お客様のご相談に対応しました。創業・新事業に関し、お客様からご相談を受けた件数は下記の通りです。

目標	150件	実績	167件
----	------	----	------

- \* 創業・新事業貸付の受け皿として保証協会保証付融資の推進を行いました。

目標	62件/310百万円	実績	44件/456百万円
----	------------	----	------------

##### (2) 経営改善支援

- \* 支援対象先ランクアップ

目標	10件	実績	3件
----	-----	----	----

- \* 金庫職員を派遣して具体的な経営改善のお手伝いを致しました。

##### ①内部環境

- ・職員の意識調査、継続的役員会の開催、合議制の意思決定
- ・安全衛生委員会の設置、HACCP・ISOへの取組
- ・在庫管理
- ・データ整備とデータシステムの構築

##### ②財務内容の改善

- ・原価計算管理規定の制定、製品種類の削減、赤字製品の廃止
- ・経費の稟議書・起案書決裁

等の実行により成果をあげることができました。

- \* しんきんビジネス・マッチングサービスへの登録を推進致しました。

目標	150件	実績	115件
----	------	----	------

全国信用金庫協会の主催する「しんきんビジネス・マッチングサービス」は「売りたい・買いたい・組みたい」等、企業の情報が集まる場です。目標に達しなかったもののほとんど無かった情報登録に取組み115件を登録しました。

この中から実際に製菓業で1件、お客様間のマッチングの実績を上げることができました。

- \* 東京シティ経営塾を運営しています。



これからの経営を担う次世代の経営者となる方が、参加して年6回の講演会と実際の経営者の体験談である特別講演会1回を行いました。参加者は102名です。

### (3) 事業再生

- \* 中小企業再生支援協議会利用紹介を推進致しました。

19年度は、2先についてアドバイス及び再生計画策定の一次対応まで進じましたが、その後再生計画立案までの諸条件が整わない、業種が特殊で再生計画策定が困難等の理由で二次対応まで至りませんでした。

- \* 求償権消滅保証(ランクアップ2)の取組

平成20年2月15日より東京信用保証協会の求償権消滅保証制度の取扱いを開始し、2件77百万円の実行を致しました。実質債務超過解消計画に妥当性があり、企業再生を支援するという地域密着型金融の重要性から取り上げ致しました。

### (4) 事業承継

- \* 事業承継、M&Aについてのニーズに対しご協力致しました。

M&Aアドバイザリー契約を1社様より締結いただき、その後4ヶ月という短期間で経営権の譲渡(株式譲渡)が成功いたしました。

## 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

### (1) 目利き機能の向上をはじめ事業評価を見極める融資＝不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底

- \* 売掛債権担保補償制度に取り組みました。

これは、販売先からの受取手形を保証協会に担保提供し手形額面金額の80%の保証を受けて資金調達。不足分20%については当金庫プロパー融資を行うものです。

実績	1件/147百万
----	----------

\* 協会保証小口融資の積極活用による資金供給を行いました。

目標	136件/1,080百万円	実績	590件/2,027百万円
----	---------------	----	---------------

\* 職員の能力アップによる目利き機能向上のためAFP資格取得を奨励しました

目標	合格5名	実績	合格5名
----	------	----	------

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

\* 基盤地区内法人個人に対する無担保融資商品  
格付けシステム活用(修正財務、定性要因)、格付けスコアリングによる一定基準以上の先を対象とする制度融資の開発

19年度中に格付けシステムの構築を行いました。これを活用した新商品の開発を20年度中に行ってお客様にご利用いただけるように致します。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域活性化に繋がる多様なサービスの提供

\* 個人目的別ローン 子育て支援優遇 シルバー優遇  
おまとめローン(多重債務者)

①個人ローン利用者のうち子育て中、65歳以上の方に金利優遇し、利用し易いローンを目指しました。

子育て支援実績	13件/16,440千円	シルバー優遇実績	4件/8,100千円
---------	--------------	----------	------------

②多重債務に陥った方の救済は社会的に要請されているものです。問題を乗り越えられると判断された案件について積極的な対応を行いました。

実績	3件/15,400千円
----	-------------

\* お客様の声アンケート

全営業店に当庫コーポレートカラーである青いアンケート箱を設置し、お客様のご意見ご要望を収集しています。頂いたご意見に対しては、全件何らかの対応を行う事を目標に、支店還元を行い全職員で改善の指針に致しております。

実績	3,473件
----	--------

\* 「中小企業会計啓発普及セミナー」



中小企業基盤整備機構様と共催で中小企業にお勤めの方を対象に、財務諸表の読み方、各種指標の考え方等の公演を行いました。

参加者数目標	200名	実績	215名
--------	------	----	------

(2) 地域への適正なコミットメント、公共部門の規律付け

\* バーゼルⅡに対応したディスクロージャーを作成するため、「自己資本充実の状況」についての新開示項目「定性的な開示項目」と、「定量的な開示項目」に対応致しました。また半期開示を実施しました。

開示した「定性的な開示項目」

- ①自己資本調達手段の概要
- ②自己資本充実度に関する評価方法の概要
- ③信用リスクに関する事項
- ④信用リスク削減手法に関するリスク管理の方針及び手続きの概要
- ⑤派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関するリスク管理の方針及び手続きの概要
- ⑥証券化エクスポージャーに関する事項
- ⑦オペレーショナル・リスクに関する事項

開示した「定量的な開示項目」

- ①自己資本の構成に関する事項
- ②自己資本の充実度に関する事項
- ③信用リスクに関する事項
  - ・信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高
  - ・一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額
  - ・リスク・ウエイトの区分毎のエクスポージャーの額等
- ④信用リスク削減手法に関する手法
  - ・信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー
- ⑤派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項
- ⑥証券化エクスポージャーに関する事項
- ⑦出資等エクスポージャーに関する事項
- ⑧金利リスクに関する事項

\* ホームページの地域・顧客への情報開示及び営業利用、質問・相談の回答、年金相談の利用

- ①ホームページの基本デザインを変更し、分かり易く読みやすい基本設計を行いました。
- ②「シティ年金ご相談窓口」(無料電話)：年金に関するご相談窓口です。
- ③「シティお問い合わせコール」：お問い合わせ・ご相談・ご要望ほか、苦情やトラブルなどの電話窓口です。
- ④「シティご相談メール」：お問い合わせ・ご相談・ご要望ほか、苦情やトラブル等の電子メールの窓口です。

\* ATM機能拡張

全店舗66台のATMをICキャッシュカード対応型に入れ替え、画面表示の見易さや動作スピードにつきましても改善されています。

4. その他

(1) 当庫本支店間情報系ネットワーク(シティネット)の情報系活用

\* 支店からの検索

LAN回線を利用した支店からの検索ソフト「シティビュー」が立ち上がりました。勘定系機器を邪魔しない状態で為替の異動等が検索できますのでお客様の待ち時間短縮に貢献します。

\* 各種文書の電子化、帳票の削減

本年度は利用状況調査、利用方法の検討を行いました。

(2) クールビズ・ウォームビズ導入による省エネ 電力量、ガス量、ガソリン消費量の管理

\* 11月～3月に「ウォームビズ」を実施しました。暖房の温度を低め(20°C～23°C)に設定し、着衣の工夫で電力の消費を押さえる活動を行いました。

クールビズ・ウォームビズの内、19年度はウォームビズしかできませんでしたので成果は現れませんでした。職員の自覚が形成され、20年度のクールビズ活動につながっています。次年度にご期待下さい。

(3) 夏休み自習教室

夏休みの宿題、職員も一緒に考えています。

参加者数目標	200名	実績	182名
--------	------	----	------

(4) 職場体験

中学生の社会経験の場となります職場体験授業を受け入れています。

受入店舗数目標	3店舗	実績	1店舗
---------	-----	----	-----

目標通り3校からお申し込みを頂きましたが、2校は辞退となり1店舗のみ実施致しました。

(5) 献血ボランティア活動に参加

平成20年1月28日(月)当金庫本店に於いて献血ボランティア活動を行いました。



63名の応募者を得、その中から献血適格者47名の採血を行うことができました。ほぼ、採血車一日の採血能力いっぱいの量となりました。

応募者数目標	60名	実績	47名/63名
--------	-----	----	---------

(6) 振り込め詐欺防止

当庫では、社会問題化している振り込め詐欺について、ポスターやチラシを使ってお客様にご注意を喚起しているほか、明らかに振り込め詐欺と考えられる事例について、ご再考をお願いすることがございます。19年度中は下記件数の振り込め詐欺を、防止いたしました。

平成19年度中 振り込め詐欺防止実績	13件
-----------------------	-----

### Ⅲ. 20年度取組について

当庫は、地域密着型金融の推進について、20年度についても変わらぬ位置づけを持って取り組んでおります。19年度で行った取組のノウハウを生かし、さらに実績を上げていく所存でございます。内容がまとまり次第ホームページで公開致しますので変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。